

## 第1学年 家庭科 家庭基礎 学習指導案

授業実践者：広島県立福山明王台高等学校 中原 直子

### 1. テーマ

「各教科で育てる資質・能力を通じた思考力・表現力を高める授業づくり

ー本校のマスタールーブリックを指標としてー」

### 2. 場所

広島県立福山明王台高等学校 本館5階 1年〇組ホームルーム教室

### 3. 対象

1年〇組 (40名)

### 4. 単元

単元名：住生活と住環境

単元を貫く問い：ライフスタイルに応じた住居の特徴や機能について思考することは、自分の理想とする暮らし方の実現とどのようなつながりがあるだろうか？

総括的な課題：単元を貫く問い「ライフスタイルに応じた住居の特徴や機能について思考することは、自分の理想とする暮らし方の実現とどのようなつながりがあるだろうか？」について学んだことを基に自分の考えを表現しよう。

パフォーマンス課題：自分の暮らし方を踏まえ、あなたが大学生活として相応しいと考える住まいを探して提案しよう。

「高校3年生のあなたは4月からD大学に進学し、京都で一人暮らしを始めます。保護者からは自分で住居候補を見付けるようにと言われました。仕送りは毎月10万円の予定です。自分の大学生活に最適だと思う住居候補を保護者に提案してください。」

### 5. テーマと単元の設定理由

#### ○単元観

本単元は、高等学校学習指導要領家庭「家庭基礎」の「B 衣食住の生活の自立と設計」の(3)「住生活と住環境」を踏まえて設定したものである。本単元では、ライフステージに応じた住生活の特徴や防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解するとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けることをねらいとしている。特に、一人暮らしや家族と住む住宅の間取り図等を理解させ、よりよい住生活の創造について考え、工夫できるようにする。

## ○生徒観

住まいに関する事前アンケートでは、「住まいが大切だと思う」生徒は100%に達した。「現在の住まいに対する不満がある」生徒は26%、「不満に感じていること」は「狭い、集合住宅2階は静かに暮らす必要がある、騒音、日当たり、坂がきつい、庭の草、エアコン不足、親の趣味グッズで空間が圧迫」であった。

「現在の住まいに対する不安がある」生徒は16%、「不安に感じていること」は「狭い、古い、災害、親は趣味グッズを処分できるのか」であり、住まいの現状を客観的に見つめていることが分かる。

一方、「今後、一人暮らしをする時に、住まいの中でこだわりたいことがある」生徒は87%、「こだわりたいこと」は立地面では「駅から近い、コンビニやスーパーマーケットが近い、大学に近い、景色がよい、公共交通機関の利便性がよい」等、住居面では「バスとトイレが別、家具の配置やデザイン、ロフトや収納、広い部屋、インテリアや照明器具、防犯対策、オートロック」等があがった。これらのことから、かなりの生徒が住まいに興味・関心を持っていることが分かった。

しかし、「住まいの主な機能を説明できる」生徒は24%、「間取り図を読み取って判断することができる」生徒は32%、「20年後の住まいを想像し、説明することができる」生徒は11%に留まり、住まいを自分事として思考するには至っていない。

## ○指導観

単元の指導に当たっては、住まいを自分事として思考できるように、単元を通して一人暮らしの住まい探しをテーマに授業を進める。住まいの主な機能や間取り図等の学習で得た知識を活用し、住生活を通して自分の暮らしを見通すとともに、暮らしの向上に向けて各自がどのような暮らしをしたいのかを考えさせたい。

本時は、住生活のまとめとしてパフォーマンス課題の発表会を行う。設定条件を考慮した上で、自分が大学生活に相応しいと考える住まいについて、選択した理由も含めて保護者に提案するつもりで発表させる。発表は、グループ内で行い、相互評価に取り組みさせることで自分の価値観を再認識させるとともに、多様な視点から自己の取組を評価させる。一連の模擬体験を通して住宅情報を比較検討するとともに、他者の意見と自己の思考を融合させることで、ライフステージに応じた暮らしを営むための知識と技能を養おうと考えた。

## 6. 単元の目標

- ・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。(知識及び技能)
- ・住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想することで、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。(思考力、判断力、表現力等)
- ・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

## 7. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

## 8. 指導と評価の計画（全6時間）

次	時間	学習内容	知・技	思・判・表	主学態	評価規準	評価方法
		【 】：テーマ ○：キーワード ・学習内容					
1	1	<b>【人と住まい】</b> ○こんな家、出ていく!! ・住まいの事前アンケートを通して、住まいの不安や住まいに求める要望を考える。 ・住まいの機能や役割を理解する。	○			・人と住まいとのかかわりや、住まいの主な機能について理解している。	・学習ノート ・定期考査
		<b>【ライフスタイルと住まい】</b> ○布団か?ベッドか? ・地域の産業(畳)と関連付け、昔ながらの住まいの工夫について理解する。	○			・ライフステージに応じた適切な住まいについて理解している。	
	2	<b>【適切な住まい】</b> ○お部屋探し&引っ越しスケジュール ・ライフスタイルの多様化に伴う住まいの設計の多様化の視点から、よりよ		○	○	・住まいの主な機能とライフステージを踏まえた適切な住まいについて問題を見いだして課題を設定している。 ・好ましい住まいについて、	・ワークシート

		<p>い住生活の創造について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図をもとに動線を考える。</li> <li>・高校卒業後に自分が住みたい家の条件を住まいの機能とライフステージを踏まえて考える。</li> </ul>				<p>課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p>	
2	3	<p>【安全な住まい】</p> <p>○ドロボウに入られた!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・侵入犯罪や災害への対策について理解する。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で快適な住まいの条件について科学的に理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習ノート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
		<p>【衛生的な住まい】</p> <p>○一人暮らしのはずだけど!!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生的な住まいについて理解する。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生的な住まいの条件について、科学的に理解している。</li> </ul>	
		<p>【これからの住生活】</p> <p>○一緒に暮らせる?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の住宅事情や持続可能な住まい方について理解する。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の住宅事情や課題について理解している。</li> </ul>	
3	4	<p>【パフォーマンス課題：大学生活に相応しい住まい探し】</p> <p>○大学生の住まい探し①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習を踏まえて、健康・快適・安全に住まうための住まいを資料から探し、理由と共にスライドにまとめる。</li> </ul>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの主な機能とライフステージを踏まえた適切な住まいについて考え、工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライド</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
	5	<p>【パフォーマンス課題：大学生活に相応しい住まい探し】</p> <p>○大学生の住まい探し②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に探した住まいを安全性・快適性・経済性の面</li> </ul>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生活に相応しい住まいについて、実践を評価したり改善したりしている。</li> <li>・住まいの主な機能とライフステージを踏まえた適切な住まいについて、課題の解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライド</li> <li>・ワークシート</li> </ul>

		で評価し、改善する。 ・修正したものをスライドにまとめる。				決に主体的に取り組もうとしている。	
6 (本時)		<b>【単元のまとめ】</b> ○大学生の住まい探し③ ・作成したスライドを基にグループ内で発表し、安全性・快適性・経済性の面で相互評価をする。 ・他者からの意見を参考に一連の活動を自己評価する。 ・一連の活動を振り返り、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図る提案をする。		○	○	・大学生生活に相応しい住まいの課題解決に向けた一連の活動について、自分の暮らし方を踏まえ、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。 ・住生活での学びを踏まえ、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・発表スライド ・ワークシート

## 9. 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・大学生生活に相応しい住まいの課題解決に向けた一連の活動について、自分の暮らし方を踏まえ、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。
- ・住生活での学びを踏まえ、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図る提案をする。

### (2) 観点別学習状況の評価規準

- ・大学生生活に相応しい住まいの課題解決に向けた一連の活動について、自分の暮らし方を踏まえ、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。(思考・判断・表現)
- ・住生活での学びを踏まえ、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

### (3) 準備物

- ・教科書「Survive!!高等学校 家庭基礎 (教育図書)」、学習ノート「Survive!!高等学校 家庭基礎ワークノート (教育図書)」、ファイル、資料「高校生のためのお部屋探し&一人暮らしガイド」(株式会社 CHINTAI)、評価シート、コンピュータ (アプリ:ロイロノート)、プロジェクタ、絵本「三匹のこぶた」

(4) 学習の展開

	主な問いと学習活動	指導上の留意点	評価規準【観点】 (評価方法)
導入	<p>【単元の振り返り】</p> <p>○本時の目標と学習内容を確認する。</p>	<p>・これまでの内容を振り返らせ、本時の内容を理解させる。</p> <p>※カード提示（課題発見力、自己調整力）</p>	
	<p>・大学生活に相応しい住まいについての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。</p> <p>・住生活での学びを踏まえ、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図る提案をする。</p>		
展開	<p>【グループ内提案】</p> <p>○4人グループを作り、順番に1人ずつ提案する。</p> <p>○なぜそう思ったのか、根拠をもって提案する。</p> <p>○提案者を評価する。</p> <p>○自分の提案を評価する。</p>	<p>・準備・評価も含めて提案させる（目安の時間は4分×4人）。</p> <p>・安全性、快適性、経済性等を考慮した住まいか、根拠に基づいて提案しているか、について評価させる。</p> <p>・自分の提案は安全性、快適性、経済性等を考慮した住まいか、根拠に基づいて提案できたか、について評価させる。</p>	<p>・大学生活に相応しい住まいの課題解決に向けた一連の活動について、自分の暮らし方を踏まえ、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。【思考・判断・表現】（発表スライド、ワークシート）</p>
終結	<p>【本時のまとめ】</p> <p>○あなたは20年後の住まいを想像し、説明することができますか？</p> <p>○絵本「三匹のこぶた」から住まいの重要性を再確認する。</p> <p>○住まい事後アンケート</p>	<p>・住まいを自分事として捉えさせる。</p> <p>・イギリスの昔話を通して、ライフスタイルに応じた住居の機能性や快適性についての重要性を思考させる。</p> <p>・本時の内容を含め、単元全体を振り返らせる。</p>	<p>・住生活での学びを踏まえ、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】（ワークシート）</p>

## 10. 総括的な課題とパフォーマンス課題のルーブリック

### ○総括的な課題

単元を貫く問い「ライフスタイルに応じた住居の特徴や機能について思考することは、自分の理想とする暮らし方の実現とどのようなつながりがあるだろうか？」について学んだことを基に自分の考えを表現しよう。

	Ⅲ（高度に達成できている）	Ⅱ（達成できている）	Ⅰ（努力を要する）
実践しようとする態度	ライフステージに応じた適切な住まいについて、人と住まいとのかかわりや、住まいの主な機能、安全で快適な住まいの条件や他の生徒の意見も踏まえて、自分の住生活を振り返り、課題意識を持ち、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、学んだ知識を日常生活で実践しようとしている。	ライフステージに応じた適切な住まいについて、人と住まいとのかかわりや、住まいの主な機能を踏まえて、自分の住生活を振り返り、課題意識をもち、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、学んだ知識を日常生活で実践しようとしている。	住生活での学びを踏まえず、自分の考えを表現している。もしくは、ライフステージに配慮することなく住まいについて表現している。

### ○パフォーマンス課題

自分の暮らし方を踏まえ、あなたが大学生活として相応しいと考える住まいを探して提案しよう。

「高校3年生のあなたは4月からD大学に進学し、京都で一人暮らしを始めます。保護者からは自分で住居候補を見つけるようにと言われました。仕送りは毎月10万円の予定です。自分の大学生活に最適だと思う住居候補を保護者に提案してください。」

	Ⅲ（高度に達成できている）	Ⅱ（達成できている）	Ⅰ（努力を要する）
根拠に基づき論理的に表現する力	単元で学習した住まいに関する事項をもとに、自分が大学生活に相応しいと考える「京都での一人暮らし」の住まいについて、自分の暮らし方を踏まえ、複数の視点から比較し、根拠に基づいて論理的に表現している。	単元で学習した住まいに関する事項をもとに、大学生活に相応しいと考える「京都での一人暮らし」の住まいについて、自分の暮らし方を踏まえ、根拠に基づいて論理的に表現している。	自分なりの問題解決策は提案しているものの、単元で学習した住まいに関する事項を踏まえた提案ができていない。